

例会「1000の道 下館羽黒神社巡りの道」報告

開催日：2022年12月7日(水) 集合場所：JR水戸線下館駅北口

集合時間：9時00分～9時30分 開会式：9時30分～9時45分 終了後スタート

コース・距離：下館駅→下羽黒神社→板谷波山記念館→五行川遊歩道→総合福祉

センター→上羽黒神社→下館城跡→下岡崎羽黒神社→道の駅グランテラス筑

西→竹島神社→アルテリオ下館地域交流センター→下館駅北口 14km

ゴール時間：下館駅13時50分

参加者：17名(会員16名)

天候：晴

ウォーキング状況等

下館は江戸時代から明治にかけて真岡木綿の集積地として栄えた商都。その賑わいから芸術文化を育み、陶芸家の板谷波山、洋画家の森田茂を輩出した文化の街としても知られています。この地区の1000の道は、タウンウォーク、こころと祭りの道である「下館羽黒神社巡りの道」の他にフットパス、水辺の道である「鮭の遡上とSLの見える街」があります。SLの運行は土休日だけに限定されているものの、鮭の遡上(10月下旬～12月上旬)が市街地で見られることを期待して、2つ1000の道をミックスした形の例会にしました。

下館駅から下館城跡のある北へ進むと、すぐ守り神として人々に信仰されてきた下羽黒神社(羽黒神社)に着く。城の各門にある7つの神社の中心で城の守りとしての役目もあったようだ。お参り後、板谷波山記念館、商都を代表する卸問屋の荒川家住宅を通り過ぎるとお目当ての五行川(勤行川)。遊歩道を歩きながら目を凝らして川を覗き込むと、鯉とは明らかに姿形が異なる鮭らしき魚が見られた。今年初めて見た鮭の遡上か？ 総合福祉センターで休息後、下館城の天門(北西)に当たる上羽黒神社を経て、平安時代から明治まで続いた古城、下館城跡へ。

城の中心は小学校敷地に埋もれ、今は八幡神社に城址碑があるだけで当時の面影は全くない。下館城の隆盛時を思い描きながら、下館城の風門(南東)に当たる下岡崎羽黒神社に向かう。ゆったりとした境内で休憩後、タウンウォークを再開し、3年前オープンした北関東最大級の「道の駅グランテラス筑西」に着いた。ここで筑波山を見ながら昼食だ。その後、下館城の鬼門(北東)に当たる竹島神社を経て、最後の訪問地、アルテリオ下館地域交流センターに到着。羽黒神社の祭礼で担がれる大神輿(重さ2トン、日本最大級)を見て、皆さん感動し、下館駅に戻りました。

高低差のある水面を登る鮭は見られなかったが、例年、鮭の遡上を目撃している参加者の一人は今年3回目で初めて鮭を見たと言う。これから多くの鮭の遡上が見られることを期待しよう。ところで、私にとって筑西市での例会開催は今回が初めて。車で通り過ぎるだけだった下館も、いざ歩いて見るといろいろな発見をする。地元の歩く会が少なくなり、必然的にこの地域でのウォーキング機会は減少中。幸いこの地域の会員も増えてきたので、協力を仰ぎながら例会開催数を増やし、皆さんに楽しんで頂ければと思う。本会独自のSTTWの普及・推進も同様で、例会終了後、8名の参加者が下館のSTTW18 県西総合公園コース(11km)を歩きました。(戸田)